

ガバナー月信



南雲年度PETSにて

月信4月号

- ① ガバナーメッセージ
- ② 南雲年度クラブ会長エレクト研修セミナー (PETS)
- ③ 第2回地区ロータリー財団セミナー兼補助金管理セミナー
- ④ 米山記念奨学生終了式・歓送会
- ⑤ ローターアクト地区大会
- ⑥ 三世代表彰式開催のご報告
- ⑦ 地区研修委員会
- ⑧ 財団委員会通信
- ⑨ 地区主要行事予定 (4月・5月)
- ⑩ 新入会員紹介・訃報
- ⑪ コーディネーターニュース
- ⑫ ハイライトよねやま

国際ロータリー第2560地区
2023-24年度

米山ガバナー事務所

〒951-8061 新潟市中央区西堀通七番町1574
ホテルイタリア軒B1

TEL: 025-222-2561 FAX: 025-222-2565



歴史を紡ぐ

2023-24 年度 ガバナー

米山 忠俊 (三条北 RC)

春の日差しが心地よく、うらかな日々を迎えております。先日、大変おめでたいニュースを聞きましたので、紹介させていただきます。

三世代表彰式開催のご報告

佐渡南ロータリークラブ会長 中川 誠

佐渡南ロータリークラブは2023年11月1日に小浜和博君(中略)を迎えました。小浜和博君の入会により、小浜秋晴君-小浜美晴君(息子)-小浜和博君(孫)の三世代が在籍となりました。100年を超える長いロータリークラブの歴史の中で新潟県、全国、世界のどこを見ても初の出来事ではないかと、感謝の意味も込めて表彰式を2月20日に開催いたしました。

(原文ママ)

とてもおめでたい報告ですね。小浜さん、おめでとうございませう。佐渡南ロータリークラブ中川会長、佐渡南ロータリークラブの皆さん、表彰式の開催ありがとうございました。

RI会長のゴードン氏は国際協議会でのテーマ発表の際、キング牧師と共に公民権運動に参加していたマヤ・アンジェロウの「続けましょう/自分らしくあるために/思いやりある行いで/不親切な世界をあっと言わせるために」という言葉を私たちに教えてくれました。ゴードン会長がおっしゃっていた続けるべきものは①ローターアクトの地位向上 ②DEIの促進 ③女兒のエンパワメント ④ポリオ根絶活動の4つだという話は、いろいろな場面で話してきたと思いますが、今回の報告を受けて、続けること、そして受け継ぐことの大切さを実感しました。ロータリーが行おうとしている活動はどれをとっても、一人だけ、一クラブだけ、一世代だけで終われるものはありません。何十年も前からロータリアンが行ってきたこと、それを私たちは受け継ぎ、行い続け、そして次世代にまた受け継いでいきます。ロータリークラブというのはまるで家族のようですが、小浜さんたちは本当の家族なので、ロータリーの「継続」へかける思いを三人で体現していただけたようで、本当に嬉しいです。

三人が所属している佐渡南ロータリークラブのすばらしさも改めて実感いたしました。

皆さんの所属しているクラブで行われた少し特別なことを、ぜひ地区の皆さんに発信してみませんか。嬉しくなるようなご報告ぜひお待ちしております。



PETS 実施報告

PETS 実行委員長

高野 裕 (長岡 RC)

南雲博文ガバナーエレクトは、去る1月アメリカ・オーランドで開催された国際協議会に参加し、国際ロータリー会長エレクトのステファニー・アーチックさんから新年度の会長方針を受け、これを基に3月9日長岡で開催されたPETS（クラブ会長エレクトの必須研修）において、新年度の地区運営方針を発表しました。その方針は、「ロータリーはステージ・みんなが輝く！」です。

今回のPETSは従来の報告スタイルから変更され、各地区委員会委員長が国際ロータリー会長エレクトと南雲ガバナーエレクトの方針に沿った21のキーワードに基づき議論する形式となりました。さらに高橋秀樹地区ラーニングファシリテーターによって個々にコメントがなされることで、緊張感を持った充実した研修時間となりました。また、南雲ガバナーエレクトの新たな試みとして、ロータリークラブの活動がクラブ単独で行われるのではなく、近隣クラブとグループを形成して協力するという新しいアプローチが導入されました。この変更は、メンバーが輝く新たな「場」の提供を目的としています。この活動のために、ガバナー補佐がグループ編成に積極的に関与し、公式訪問もグループ単位で行うなど、新たな活動方針が打ち出されました。

さらに、今回のPETSでは、映像機器を活用したプレゼンテーションや、休憩時間のエンターテイメント、質の高い研修をサポートするための弦楽四重奏の演奏やソプラノ歌手によるオペラのアリアなどを提供させていただきました。このように新しいアプローチと充実したプログラムにより、今年のPETSは参加者であるクラブ会長エレクトおよび幹事エレクトにとって新しい年度を迎えるにあたっての充実した研修となりました。





ロータリーの補助金は 奉仕活動の原動力！

ロータリー財団委員会
補助金委員会
副委員長

武田 真 (水原 RC)

ロータリーの奉仕活動において活動資金は欠かせません。その資金ソースの中でロータリーのシェアシステムより拠出されるロータリーの補助金はクラブにとって力強い原動力となっています。ロータリー財団（以下、「TRF」という。）は、クラブに対していくつかの補助金を用意しています。その代表的なものが地区補助金とグローバル補助金です。

地区補助金は財団の使命である健康状態を改善し、教育の支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界の親善、平和を達成できるようにすることを目的にしており、グローバル補助金は TRF によって掲げられた 7 つの重点分野（平和構築と紛争予防、疾病予防と治療、水と衛生、母子の健康、基本的教育と識字率向上、地域社会の経済発展、環境）の奉仕プロジェクトや大学院レベルの海外留学奨学金、職業研修チーム（VTT）のために授与されています。

その補助金に対する理解を深めていただくために「第 2 回ロータリー財団セミナー・補助金管理セミナー」が、去る 2 月 17 日（土）ホテルオークラ新潟にて実施され、県内各クラブより 114 名のロータリアンおよびローターアクトの皆さまからご参加をいただきました。セミナーでは、寄付資金の現状と次年度目標、ポリオプラス、ロータリーカード、地区補助金申請と次年度スケジュール、グローバル補助金の活用、VTT の概要と奨学制度について、そしてグローバル補助金の取組発表と学友による体験談発表を第 1 セッションにおいて実施。第 2 セッションでは補助金管理を中心に資金管理における注意点と質疑応答を実施いたしました。

私たち地区の財団委員会は、地区すべてのクラブよりロータリーの補助金を有意義にご活用いただくことを願っています。ぜひとも、「世界でよいことをしよう」(Doing Good in the World) の掛け声が地域そして世界に広がりますように皆さまの補助金に対するご理解ご協力をお願い申し上げます。







2023-24 年度 米山記念奨学生終了式・歓送会

米山記念奨学委員会
奨学生・学友委員会
委員長

渡辺 雅志 (長岡西 RC)

去る3月2日土曜日にホテルイタリア軒で2023-24年度の米山記念奨学生終了式が行われました。当日は米山忠俊ガバナー、新保清久ロータリー米山記念奨学会理事をお迎えして無事に終了する奨学生を送り出すことができました。

奨学生には終了証書が米山ガバナーからひとりひとりに授与され、カウンセラーには感謝状が米山ガバナーから授与されました。

終了式に引き続いて歓送会が楽しい雰囲気の中で行われました。奨学生から一人ずつスピーチをしてもらい、奨学期間の思い出や感想を聞くことができました。新型コロナも落ち着き奨学生同士の交流やカウンセラーさんとの思い出、そして米山記念奨学事業への感謝の言葉が奨学生から出てきました。

米山記念奨学生は奨学期間の終了と共に米山学友となり、国内外で活躍していきます。そして将来、日本と母国の懸け橋になり世界平和にも役立ってくれるはずです。

この米山記念奨学事業がこれからも続けていけますようにロータリアン皆様の益々のご寄付をよろしくお願いいたします。







ローターアクト地区大会

地区ローターアクト代表

星野 洸太 (長岡東 RC)

3月2日(土) ホテルニューオータニ長岡を会場に第54回地区大会を開催しました。ご参加をいただきました皆様には、心より感謝申し上げます。

地区大会を開催するにあたり、今年度は様々な挑戦をしました。RIの規定審議会においてローターアクトもRIメンバーの一員となったことを踏まえ、更なる協働の輪を広げることを目的に、地区大会を通じてロータリアン様とローターアクターとの交流が図られるよう、地区内全てのロータリークラブ事務局に電話で参加のお願いをしたり、個別での参加依頼をしたりしました。

当日は合計118名のご登録をいただき、盛大に地区大会を開催することが出来ました。

本地区大会のターゲットは「あそび あふれる」です。地区大会では、各クラブが仮装をしたり演劇をしたりと会場参加型の個性溢れる活動報告を行いました。そして、基調講演では元よしもと芸人でエンターテイナーの等身大株式会社代表取締役 内藤三矢花 VITA 様をお迎えし、参加者同士が一斉に交流する体験型のご講演をいただきました。

祝賀会では、長岡市にある2つの酒蔵の日本酒を用意し鏡開きを行いました。友好地区からのお土産を囲みながら、参加者全員の大交流企画、友好地区PRタイム、そして、最後には地区大会の思い出動画を参加者全員でペンライトを振りながら鑑賞しました。

地区大会を通じて、ロータリアンの皆様、当地区のローターアクター、友好地区が地区や所属を超えての繋がりを作ることが出来ました。例年、友好地区からは“新潟の地区大会は全国のお手本”と言われています。今年も参加者された皆様から「本当に楽しかった」との感想をいただいております。

結びに、皆様の更なるご発展をお祈りすると共に、ご協力を賜りました皆様に心より御礼申し上げます。来年もぜひ、ローターアクトの地区大会へのご参加を心よりお待ちしております。



三世代表彰式開催のご報告

佐渡南ロータリークラブ
会長
中川 誠



佐渡南ロータリークラブは2023年11月1日に小浜和博君と中原匡晶君、2024年1月9日に高橋正行君合計3名の新会員を迎えました。小浜和博君の入会により、小浜秋晴君－小浜美晴君（息子）－小浜和博君（孫）の三世代が在籍となりました。100年を超える長いロータリークラブの歴史の中で新潟県、全国、世界の処をみても初の出来事ではないかと、感謝の意味も込めて表彰式を2月20日に開催致しました。

表彰式は祝宴を開き盛大に行いたかったのですが、小浜秋晴君がそれを辞退したため通常の例会の中で行いました。短い時間での表彰式でしたが、明るく和やか、祝福ムード一杯の表彰式となりました。

会員の皆さんは改めてロータリークラブの絆を感じたことと思います。この絆を大切にしながら2025年5月の創立50周年記念式典に向けて粛々と準備を進めて参りたいと思います。

(参考)

小浜秋晴 (有)小浜組 取締役会長 1979年6月入会 93歳
 小浜美晴 (有)佐渡マリンスポーツ 代表取締役社長 1995年1月1日入会 73歳
 小浜和博 (有)小浜組 代表取締役 2023年11月1日入会 46歳



表彰された3名のコメントです。

【小浜秋晴君】

皆さん今日は有難うございました。こんな事をやらせてしまった犯人は全部俺です。和博が入ってくれた時に辞めておけばこうならなかったんだけど。言い訳をすると寿正君が50周年をやるのに、頭数だけ残っておいた方がいいかなあと。会費を納めて残ろうと思ったらこういう事になってしまって、皆さん大変ご迷惑をかけました。でも本当に有難いです。有難うございました。

【小浜美晴君】

本日は有難うございました。アットホームな会員の方々に、またこうして心配りまで有難うございました。平成8年入会です。前に言ったようにうちの親父が本間幸次を誘ったばかりにぎったんばったんで俺が。今度は寿正君を誘った格好で、本間建設さんには大変お世話になっています。ロータリーには良い経験をさせて貰って、特に心に残っているのは東日本大震災で気仙沼に行った時。あれだけ大勢の仲間が行って、うちのクラブは大したもんだと。車5台位で行って、全部完結型で水から軍手から用意して。凄いメンバーだと感激しました。震災が起こる度に羽茂ばかり会長をやっていて、中越地震の時は俺が会長の時で、あの時も5、6名以上行ってくれたと思います。特にマツヤさんが肉から豆腐から全部切ってくれていて。村川が会長の時に中越沖地震が起きて、その時は柏崎、小国町に行きました。最後のとどめが駒形信雄で東日本大震災の時。道が悪い中どうにか行って、凄いと思ったのは温かい豚汁もだけれど、荒んでいる所へ勇気付ける言葉を皆が言ってくれて、やっぱり良いメンバーだなと。親父が元気な事に感謝しているし、まさか息子は入らないだろう、現役で仕事をしないとイケないのにと思っていたら、誰が誘ったのか知らないけれど息子も入会。調べてみたら会費を今まで1340万払っているわけで、これからは息子の分も払わないとイケない。でも良いメンバーに出会えて、今日も心配りをして頂いて、大変感謝申し上げて拙い挨拶とさせていただきます。有難うございました。

【小浜和博君】

皆様大変貴重な時間を頂戴しまして、この様な賞を頂きまして有難うございます。私個人としては皆さんのこの温度差に若干引いている所があります。ちょっと言い訳になるかもしれないのですが、40歳まで青年会議所と言う所で活動させて頂きました。40歳で卒業という事で、その後はロータリークラブはメンバーも素晴らしいしお世話になりたいとずっと思っていたのです。色々な方からも声を掛けて頂きました。たださっきも言ったように会費が3人というとなんなんだと。祖父が亡くなったらその代わりに入るという事を皆さんに聞かれたら話していたのですが祖父は精力も体力もあってまだまだ元気なので、いてもたってもいられず、去年声を掛けて頂いたタイミングでついに入会させて頂きました。私はちょっと奥手で結婚は遅かったものですからまだ長男は13歳ですが、あと20年30年後にもしかしたら四世代という事があるかもしれないので、それを目指して会長に長生きして貰って頑張っていきたいと思います。本日は有難うございました。



研修からラーニングへ、 講義からファシリテーションへ

地区研修委員会 副委員長

研修小委員会 委員長

地区研修チーム

関川 博 (三条 RC)

高橋ガバナー年度にて地区における諸問題解決の施策として、地区運営改善検討委員会より「地区運営活性化に向けた提言書」が提案され、地区研修の強化を目的に「地区研修委員会」が設立されました。米山ガバナー年度にて施行され、南雲ガバナー年度対象のガバナー補佐研修、クラブ会長幹事研修、地区チーム研修セミナーが実施され効果が確認されております。

地区研修委員会では、研修手法として講師が一方的に講義を行うスタイルから、受講者が発言する機会を取り入れ、参加型の手法をできる限り取り入れておりました。そのおり、高橋地区研修リーダーが昨年参加された「地区研修リーダー研修」にて、国際ロータリーでは今後、「研修」から「ラーニング」へ、「講義」から「ファシリテーション」へ移行することを強く推奨されており、研修に参加された各地区の地区研修リーダーが未着手の中、本地区ではすでにその手法を取り入れて実施していたことで、高橋地区研修リーダーは、高評価を受けたと報告されました。

具体的には、従前の「研修」スタイルは、講師から一方通行の講義が行われ、受講者は発言しないというものでしたが、今後は自ら学ぶスタイルの「ラーニング」とし、My Rotaryのラーニングセンターなどで自学を行い、研修会では「講師」が受講者に発言の機会を与え、意見や考えを引き出す「ファシリテーション」を実施する一方通行の講師から「ファシリテーター」へ変わるというものです。

地区研修リーダーは、地区ラーニングファシリテーターとなり、今後様々な研修会でファシリテーターとして受講者の発言、意見を引き出す技能が必要なことから、本地区では三年任期が相応ということで、地区運営改善検討委員会から「地区研修の内容向上へ向けた提言書」が、米山ガバナーへ提言され諮問委員会全会一致で承諾され、米山ガバナーにより採択されました。その後本件は、南雲ガバナーエレクトへ引き継がれ、南雲年度より運用されることとなりました。

「地区研修の内容の向上へ向けた提言書」抜粋

- 1、地区研修リーダーは従前、一期前のパストガバナーが就任する順送りを採択されていましたが、それを廃止し、地区ラーニングファシリテーターとして、適任者を選任する。
- 2、継続的な研修効果に繋げるため、地区研修リーダー（地区ラーニングファシリテーター）と地区研修委員会委員長（地区ラーニング委員会）は緊密な連携を図る。
- 3、近い将来、この二つのポストは統合し、兼務する体制を構築する。

4、前項の各ポストの任期を同一の始期から三年とする。

また、同時に各名称変更を提言されています。

- ・地区研修委員会 → 地区ラーニング委員会
- ・地区研修リーダー → 地区ラーニングファシリテーター
- ・クラブ研修リーダー → クラブ・ラーニングファシリテーター

南雲年度 PETS にて実施されました地区委員会各委員長によるシンポジウムは、高橋地区ラーニングファシリテーターにより、まさにファシリテーションスタイルが実施され、高橋地区ラーニングファシリテーターが事前にラーニング資料を提示され、それを元に各委員長が意見を述べ高橋地区ラーニングファシリテーターとファシリテーションを実施しました。会長幹事エレクトがそのやり取りを見るスタイルは、臨場感があったと思います。南雲ガバナー年度がスタートすると、すぐに室賀ガバナーエレクト年度のガバナー補佐研修、クラブ会長幹事研修と続きます。地区ラーニング委員会として、さらにブラッシュアップして参りますので、どうぞご期待ください。



高橋地区ラーニングファシリテーターから各委員長へ事前ラーニングキーワードを提示され、そのキーワードを引用した委員会活動方針が積極的に発表されました。

各テーマ別キーワード

1、国際ロータリー会長のメッセージ

Key1 ロータリーのマジック Key2 平和を優先する Key3 ポリオ根絶

2、DEIとは

Key4 多様性 Key5 公平さ Key6 インクルージョン

3、国際ロータリーの優先事項

Key7 ビジョン声明 Key8 より大きなインパクトをもたらす

Key9 参加者の基盤を広げる

Key10 参加者の積極的な関わりを促す Key11 適応力を高める

4、第 2560 地区の地区運営方針

Key12 ロータリーはステージみんなが輝く

5、第 2560 地区の重点目標

Key13 分区内の連携強化と会員増強 Key14 地区ラーニング委員会の充実

Key15 クラブの活性化と積極的な奉仕活動 (他、数値的目標)

最後に、「入りて学び、出て奉仕せよ」を取り戻したいものです。





「世界でよいことをしよう」

財団委員会通信



2023 年度地区補助金プロジェクトも最終報告書が地区事務所に続々寄せられています。次年度に向け各クラブ奉仕委員会の皆さん&財団委員長さんの参考にしていただければ幸いです。

尚プロジェクトの詳細については各クラブにお問い合わせください。

紹介するプロジェクトは次の2クラブです。

- ・高田東ロータリークラブ
「福祉ウィンウィンの橋渡し～福祉事業所と児童養護施設を繋ぐ社会奉仕を～」
- ・中条ロータリークラブ
「中学校校舎美化活動支援」



地区補助金番号: DG2447744

個別プロジェクト報告書番号: 16

ロータリー財団地区補助金(DG)個別プロジェクト報告書

ロータリークラブ: 高田東ロータリークラブ

プロジェクト名: 福祉ウィンウィンの橋渡し～福祉事業所と児童養護施設を繋ぐ社会奉仕を～

プロジェクトの概要

1. このプロジェクトで何が、いつ、どこで実施されたかを簡潔に説明してください。

福祉事業所の様々な産品を購入し、児童養護施設の若竹寮の子供たちにプレゼントした。

日時: 2023年12月18日(月)14:00～15:30(2箇所)

場所: 納入式 かなやの里ワークス 14:00～14:15、贈呈式 若竹寮 15:00～15:30

2. このプロジェクトの恩恵を受けた人々の数はどのくらいですか。 39名

3. プロジェクトの受益者は誰ですか、またどのような恩恵を受けましたか。プロジェクトはどのような人道的ニーズに応えましたか。

福祉事業所で購入した産品を、様々な事情で施設で養育されている子供たちに届けることで「福祉ウィンウィンの橋渡し」をすることができた。福祉事業所の生産に、そして若竹寮の取り組む青少年健全育成に貢献できた。

4. このプロジェクトに何名のロータリアンが参加しましたか。 30名

5. これらのロータリアンは何を行いましたか。プロジェクトへの財政的支援を除き、その具体例を少なくとも2つ挙げてください。

6の福祉事業所と若竹寮との打合せなどプロジェクト後の福祉事業所と若竹寮へ聞き取り

6. 協力団体が関与している場合、その団体の役割は何でしたか。

関与している協力団体はありません。

プロジェクト実施写真集





プロジェクトの成果の確認

① 納入式・贈呈式

若竹寮より

COVID-19 等感染症拡大防止の為 代表者、職員のみ打合せ

現状ヒアリング 課題確認

子供たちが大いに喜ぶと回答得る

事業所より

皆で写真撮影、別宅にて通所員も喜ぶとお話があり

② 事後の若竹寮・事業所への聞き取り結果

若竹寮より

令和6年1月吉日

高田東ロータリークラブ 様

若竹寮

施設長 片桐 友紀

(職 印 省 略)

ご寄付のお礼について

厳寒の候、貴クラブにおかれましては益々御健勝のことと心からお喜び申し上げます。

この度は若竹寮の子ども達のためにたくさんのご寄付をいただきまして誠にありがとうございました。皆様からの心温かなご好意に対し、子ども達はじめ私達職員一同深く感謝いたしております。

当法人は、高齢・障害・児童福祉・総合相談・障害者芸術活動支援の5つの事業を通し、「一人ひとりの命を輝かせるために、みんなが役割を担っていきる社会の実現」を目指しております。

若竹寮の子どもたちが広く社会に参加し、日々笑顔で前進できるよう職員一同努力してまいりますので、今後ともお力添えの程よろしくお願い申し上げます。

最後に、貴クラブのますますのご発展を心よりお祈り申し上げ、粗葉ではありますが一言のお礼とさせていただきます。

地区補助金番号: DG2447744

個別プロジェクト報告書番号: 7

ロータリー財団地区補助金(DG)個別プロジェクト報告書

ロータリークラブ: 中条ロータリークラブ

プロジェクト名: 中学校校舎美化活動支援

プロジェクトの概要

1. このプロジェクトで何が、いつ、どこで実施されたかを簡潔に説明してください。

中学校校舎内廊下の塗装作業を11月17日、乙中学校で実施しました。

2. このプロジェクトの恩恵を受けた人々の数はどのぐらいですか。 100名

3. プロジェクトの受益者は誰ですか、またどのような恩恵を受けましたか。プロジェクトはどのような人道的ニーズに応えましたか。

乙中学校の生徒、教職員、保護者など。校舎内がきれいになり学ぶ環境が改善された。

教育現場から校舎美化活動への協力の要望を受け、社会奉仕活動の一環として実施しました。

4. このプロジェクトに何名のロータリアンが参加しましたか。 20名

5. これらのロータリアンは何を行いましたか。プロジェクトへの財政的支援を除き、その具体例を少なくとも2つ挙げてください。

生徒、教職員、保護者へ塗装作業の指導を行った。

生徒、教職員、保護者と共に塗装作業を行った。

6. 協力団体が関与している場合、その団体の役割は何でしたか。 無し

プロジェクト実施写真集





プロジェクトの成果の確認



【教育目標】 めあてをもって粘り強く努力しよう

胎内市立乙中学校

学校だより

令和5年11月29日

「環境整備で人と人がつながった」11月24日（金）全校朝会講話
校長 山田 せい子

すっかり寒くなりましたが、先週の火曜日（11月14日）に、全校の皆さんで外清掃をすることができました。落ち葉だらけだった校舎の周りが、あっという間にきれいになりました。生活環境委員会の皆さんが、必要な道具を準備してくれました。皆さんは、どの道具を選んで、どのように掃除をしましたか。約30分間という短い時間でしたが、周りの状況を見ながら動いてくれたと思います。一人で黙々と落ち葉をかき集める人、かき集めた落ち葉を何度も何度も捨てに行ってくれた人、近くの人と協力しながら、テミ（手箕）で落ち葉をかき集める人など、自然と仕事を分担して手際よくやってくれました。

毎日の校舎内の清掃活動も大変だと思います。なぜなら、少人数で、広い場所を15分間できれいにならなければならないからです。皆さんが毎日きれいに使って、掃除を頑張ってくれているおかげで、約40年経った校舎をきれいに使うことができています。

もちろん、古くなって傷んでしまっている場所もあります。先週の金曜日（11月17日）には、3年生が、2階の廊下と1階の玄関の壁をきれいに塗り替えてくれました。この活動の1年目、生徒たちの思いに賛同し、お世話になった学校に恩返しをしたいという乙中学校の卒業生であるカワウチ塗装の社長河内碩さんが、技術指導、ペンキや道具を無償で提供して下さって始まりました。2回目と3回目は、この活動にさらに賛同して下さった中条ロータリークラブの皆さんの全面協力により、さらに広い範囲の壁を塗ることができました。校舎が明るくなり、とてもきれいになりました。

外清掃も壁のペンキ塗りも、私たち自身が気持ちよく過ごすことができますが、学校の近くに住んでいる人、学校を訪ねてくれる人にも、いい気持ちになっていただくことができます。環境整備する行動やその結果は、今年の生徒会のスローガンである「人とのつながり」「人との縁」につながっています。「落ち葉が側溝に詰まったら大変だ。古くなった校舎をきれいにしたい。」という、皆さんの気持ちが行動になり、協力してくれる人がいて、また、次の世代につながっていきます。環境整備は、自分だけでなく、誰かのためになって次へとつながっていきます。



各種表彰



校長講話

○ 3年生 校舎の壁面のペンキ塗りを行いました 11月17日（金）

3年生は、2学期の大きな学校行事等が終わり、これから卒業と進路に向けての動きが本格化するのを目前に、これまで約2年半お世話になった校舎を整備するため、老朽化が進む校内の壁面のペンキ塗装を行いました。

この活動は3年目となりますが、今回は、これまで手付かずだった2階廊下と1階玄関周辺の壁を塗装することとしました。



生徒と地域の大人と一緒に活動する様子。また生徒が楽しくかつ丁寧に作業に取り組む様子が見られたことは、地域とともに歩む学校に似つかわしいひとときでした。生徒からも「とても楽しく幸せな時間になったこと」「乙中を愛し支えてくれる存在のありがたさを感じたこと」「今回のような活動を後輩にもつなげたいこと」等の振り返りがありました。ペンキ塗りに限らず、このような取組を今後も継続して取り組んでいける学校でありたいものです。

今年度の活動に当たっては、昨年度もお世話になった、当校OBでもあるカワウチ塗装の河内靖社長様を窓口とし、ペンキや必要な用具についての費用を中条ロータリークラブから全額御支援いただきました。また当日も朝からロータリークラブの皆様延べ17名が来校され、マスキング等、午後からの活動の準備を行って下さいました。たいへんお世話になり、ありがとうございました。

※ この活動については、『市報たいない』12/1号でも紹介されます（表紙及び記事として活動の様子が掲載される予定です）。



～乙中学校で目指す生徒像～

地域の良さに触れながら 広い視野をもち 自ら将来を切り拓く生徒

乙♥チャレンジ

乙♥チャレンジ は乙中学校コミュニティ・スクールのスローガンです!

胎内市立乙中学校
学校運営協議会(CS)だより第7号

令和5年11月29日

文責:乙中 大竹

3年生校舎ペンキ塗り～大先輩と塗り替える～

11月17日(金)の5・6限に3年生の総合活動の時間に乙中校舎内の1階生徒玄関と職員玄関の壁、2階廊下の壁を真っ白なペンキで塗り替える活動を行いました。この活動は乙中OBであるカワウチ塗装さんの河内靖さん(右写真)の全面協力のもと行うもので、**今年で3回目となります**。令和2年度の1年生が3階廊下の壁を、この学年が3年生となった昨年度に1階廊下を、そして今年度は今年の3年生が2階廊下と玄関の壁を塗っています。活動



の目的は「立つ鳥跡を『きれいにする』」つまり、卒業前にお世話になった学び舎をきれいにして、後輩に引き継ぐというものです。その活動に地域コーディネーターの南波さん、堀さん、齋藤さんが賛同し、**塗装のプロフェッショナルでありこの校舎で中学校生活を過ごした河内さんが「よし、やろう!」となった事で実現したものです**。ただ、このペンキ塗り。塗料や道具はもちろん、床やドア、窓にペンキがつかないように設置するシートなど、その準備と設置に多くの費用と労力を要するのです。そこ

に費用面と人手面で支援してくださったのが中条ロータリークラブさんです。**2回目と今回の費用は全額、中条ロータリークラブさんが負担してくださいました。そしてカワウチ塗装さんの従業員さんはじめロータリークラブの会員さんがボランティアで当日の朝から準備をしていただきました**。本当にありがとうございます。これに応えるように、生徒会長の「今日は私たちのために準備していただきありがとうございます。今日は精一杯頑張ります!」という決意の一言で始まった今年のペンキ塗り。3年生の熱心な姿勢と丁寧さは一緒に活動して



いたロータリークラブの皆さんが感心されるほどでした。特にY樹さんの黙々と作業する姿と仕事のクオリティには見に来る先生方やコーディネーターの皆さんのカメラ撮影が止まらないほどでした。作業は予定より大幅に短い時間で完了し、学校の顔である玄関の壁は朝日を反射するほど明るく、ほの暗かった2階廊下は電灯がなくても明るくなるほどきれいな白に仕上がりました。**3年生の仕事っぷりに大きな拍手です!**

でも、この後、カワウチ塗装さんがキレイに片付けをしてくれ、翌日も休日を返上して仕上げ作業をしてくださったことをどうかお忘れなく。今の乙中生が学び舎に感謝し、そして未来の乙中生のために、過去の乙中生と共に「塗り替える」このペンキ塗り活動。これには「キレイになる」こと以上の大きな価値があると思っています。協力いただいた皆さん本当にありがとうございました!



「自然が生きる、人が輝く、
交流のまち『胎内』」



先輩と一緒に
学び舎を純白に

【特集】胎内市の水道 ㊦
今年も除雪の季節がやってきました ㊦

今月の表紙

11月17日に乙中学校で行われた校舎内の壁のペンキ塗りの場面です（関連記事8ページ）。3年生は真剣な表情で丁寧な作業を進め、約2時間で1階玄関周辺と2階の壁があつという間に真っ白になりました。時折「広報担当者に「写真撮ってください！」とピースサイン。明るい生徒たちにもこちらからも元気ももらいました。



第 2560 地区 2023-24 年度 2 月末 会員数報告

R C	例会数	My Rotary アカウント 登録率	会 員 数			
			2023年 7月1日	2月末 会員数	うち女性	増減
第1分区 (9クラブ)	/	-	378	382	41	4
新発田	3	31.1%	89	87	1	-2
村上	4	20.0%	39	39	9	0
水原	4	27.3%	31	33	1	2
中条	4	100.0%	48	48	3	0
新発田城南	4	23.1%	38	39	5	1
豊栄	4	20.8%	25	24	2	-1
新発田中央	3	4.4%	45	45	5	0
中条胎内	3	48.7%	37	39	9	2
村上岩船	3	28.6%	26	28	6	2
第2分区 (9クラブ)	/	-	436	454	30	20
新潟	4	32.9%	78	85	3	7
新潟東	3	15.9%	61	63	7	2
新潟南	4	34.2%	114	117	8	3
佐渡	3	80.0%	5	5	0	0
新潟西	5	44.4%	40	45	2	5
佐渡南	4	12.8%	36	39	3	3
新潟北	3	35.1%	37	37	1	0
新潟中央	3	36.4%	22	22	0	0
新潟万代	3	53.7%	43	41	6	0
第3分区 (5クラブ)	/	-	91	94	5	3
新津	4	20.0%	15	15	1	0
村松	4	42.9%	12	14	0	2
白根	5	27.3%	32	33	1	1
新津中央	4	38.5%	26	26	3	0
阿賀野川ライン	3	0.0%	6	6	0	0
第4分区 (11クラブ)	/	-	364	365	31	1
三条	4	9.1%	53	55	0	2
燕	3	7.5%	39	40	3	1
加茂	5	6.9%	29	29	4	0
三条南	3	20.0%	42	40	3	-2
分水	4	68.8%	31	32	4	1
見附	3	5.0%	20	20	1	0
吉田	3	4.0%	28	25	3	-3
三条北	4	11.1%	52	54	3	2
巻	3	6.9%	27	28	4	1
田上あじさい	4	16.7%	6	6	2	0
三条東	4	19.4%	37	36	4	-1

R C	例会数	My Rotary アカウント 登録率	会 員 数			
			2023年 7月1日	2月末 会員数	うち女性	増減
第5分区 (7クラブ)	/	-	287	305	29	18
長岡	3	68.8%	46	48	4	2
柏崎	3	2.1%	42	48	0	6
長岡東	3	24.6%	54	61	9	7
柏崎東	3	19.5%	40	41	2	1
栃尾	4	13.6%	21	22	1	1
長岡西	4	18.0%	48	50	3	2
柏崎中央	3	25.7%	36	35	10	-1
第6分区 (6クラブ)	/	-	125	120	8	-5
十日町	3	30.0%	31	30	3	-1
小千谷	5	14.3%	31	28	2	-3
雪国魚沼	4	15.4%	26	26	3	0
十日町北	3	0.0%	15	14	0	-1
津南	3	28.6%	14	14	0	0
越後魚沼	2	12.5%	8	8	0	0
第7分区 (7クラブ)	/	-	309	308	20	-1
高田	2	33.3%	68	69	4	1
直江津	2	36.1%	72	72	6	0
新井妙高	2	11.8%	32	34	1	2
糸魚川	5	95.2%	43	42	3	-1
高田東	2	58.3%	36	36	2	0
糸魚川中央	3	53.8%	25	26	0	1
越後春日山	4	82.8%	33	29	4	-4

クラブ数	54 クラブ
7月1日会員数	1,990 人
2月末会員数	2,028 人
女性会員数	164 人
純増減会員数	38 人
My Rotaryアカウント登録率	29.6 %

地区主要行事予定

2024年3月23日現在

年	月	日	行 事	会 場	
2024年 (R6) 米山年度	4月	環境月間			
		18~19	(木~金)	クラブ活性化セミナー 2024	JPタワー ホール&カンファレンス
		19	(金)	第4回ガバナー会議	JPタワー ホール&カンファレンス
		19	(金)	ガバナーノミニー・デジグネートセミナー	JPタワー ホール&カンファレンス
		20	(土)	米山記念奨学生オリエンテーション・歓迎会	ANAクラウンプラザホテル新潟
		20	(土)	中条胎内RC創立30周年記念式典	中条グランドホテル
		27	(土)	第3回派遣学生オリエンテーション	三条商工会議所会館
		未定		田上あじさいRC創立30周年記念式典	未定
	5月	青少年奉仕月間			
		10~12	(金~日)	全国青少年交換研究会山形会議	山形県天童ホテル
		11	(土)	第1回地区リーダー危機管理セミナー	山形県天童ホテル
		12	(日)	高田東RC創立55周年記念並びに 台湾板橋東區扶輪社姉妹クラブ更新式	デュオ・セレツソ
		18~19	(土~日)	ローターアクト地区協議会	新潟市アグリパーク
		19	(日)	分水RC創立50周年記念式典	燕三条ワシントンホテル
25~29		(土~水)	RI国際大会	シンガポール	

【新入会員】

(敬称略)

RC	氏名	入会日	会社名	役職	職業分類
村上岩船	加藤 和泰	2024.02.05	株式会社 村上トラベルサービス	代表取締役	旅行業
新潟南	小野 剛史	2024.02.07	(株)新潟グランドホテル	営業部長	ホテル
新潟西	星 智也	2024.02.08	(株)アクアリゾート	代表取締役	アクアリウム保守管理
高田東	小林 靖昭	2024.02.19	上越ケーブルビジョン株式会社	営業部長	放送・通信
高田東	古澤 巧	2024.02.19	株式会社電設	代表取締役	電気工事
柏崎中央	皆川 拓也	2024.02.20	connect	代表	中古車販売業
中条	近 貴之	2024.03.01	(株)カエツ工業	代表取締役	生活総合サービス業

IFMR MEETING

International Fellowship of Motorcycling Rotarians

JAPAN CHAPTER

JULY 2024

in HOKKAIDO



IFMR ジャパン大会 北海道開催

2024年7月27日(土)

2024年7月27日(土)に開催されるIFMRジャパン大会北海道開催は、バイク愛好家のロータリアンが親睦を深める絶好の機会です。美味しい地元の食事を楽しみ、ロータリーの理念に基づく新たな友情を育む場となります。北海道の夏と大自然を満喫しながら、全国から来た仲間たちとの絆を深めましょう。ご参加をお待ちしています。



IFMR ジャパン大会 北海道開催 記念Tシャツ発売

S~LL 2,310円(税込) 締切は5月10日です。お早めに!!

3L~5L 2,475円(税込)

お申し込みは、直接、オクトンさんへメールかFAXでお申し込みください。その場合、サイズや枚数をお伝え下さい。メール：yamazaki@octon.co.jp FAX：0120-916-322

■開催日時・大会スケジュール

- 2024年7月27日(土曜日) 17:30より
- 例会 17:30より
2024-25年度 RI2500 地区 小谷 典之ガバナーご挨拶
2024-25年度 RI2510 地区 出村 知佳子ガバナーご挨拶
- 親睦活動グループについての卓話
- 18:00より懇親会 アトラクション

※ドレスコードは、カジュアルです。記念Tシャツをおすすめします。

※ご宿泊は、数室のご用意がございますが、各自でご手配ください。

※翌日28日(日)に、ツーリングを予定しております。(希望者)
(ツーリングは、早朝から昼までの予定です。昼食は各自でお願いします。)

※レンタルバイクをご利用の方は、各自でご手配ください。

■開催場所：旭川トーヨーホテル

北海道旭川市7条通7丁目32-12

■登録料・登録締切：2024年5月10日

■登録料：ロータリアン15,000円 パートナー8,000円

※参加資格はロータリアン及びパートナーの方

■登録料振込口座：稚内信用金庫 旭川支店(店番017)

普通 口座番号 1117989

IFMR ジャパン大会北海道 幹事 佐藤 友泰

アイエフエムアールジャパンタイカイホ

■ご登録は、各地区のガバナー事務所へ登録のご案内を送らせて頂きますので、そちらからご登録お願い致します。



より良いクラブにしよう



第2地域 ロータリーコーディネーター補佐 黒川 伸一（富山南 RC）

今年1月のオーランドでは、アーチック会長エレクトの「ロータリーのマジック」のテーマと共に、3年間の目標と計画、ロータリーの行動計画、ロータリーの強さを維持するため、4つのテストの重要性・ピースポール(平和の塔)プロジェクトの推進、前任者や後任者と協力すること・クラブが取り組んで来たことやクラブに根付いていることに目を向けることを掲げ、単年度制のシステムに継続性を加え、より良いクラブ作りを目指しています。

ロータリーはクラブが基本をさらに充実させることの重要性を出しており、今までのクラブに継続性の課題を数値化して、それぞれの検証を行い続ける事としています。私たちロータリーコーディネーター補佐は、担当の地区に於いてガバナーの地区運営に寄与し、アーチック会長エレクトと一緒にクラブそのものを良くして行きたいと考えます。

私自身、2月には2回目のパキスタン・カラチに行き、現地のポリオワーカーの方々とポリオワクチンの、投与等の活動をさせて頂き、パキスタンのロータリアンの活動や今後の、ポリオ根絶への方向性を見させて頂きました。その中に、ロータリー財団の7つの重点分野にもあります「水と衛生」に関して、現地での飲料水に対する支援の必要性を、今年の活動で感じていました。給水車で飲料水の配給は、時間と配給量が限られ、今年1月発災した能登地震での長期に渡る水道水の断水で、どれだけの方々が苦労されたかが、身近で実感致しました。パキスタンの方々は、その状態を毎日の状態で、ポリオもポリオワーカーの方々のワクチン投与だけで、よく減少していると感心します。2026年にはポリオ根絶を目指しますが、その継続性を保つには「水と衛生」に関しての継続的支援も、ロータリーとして継続課題だと考えます。また、これらの実現が、本来のポリオ根絶になるとも思いますので、これからも一人のロータリアンとして活動を継続していきますので、よろしくお願いいたします。



「アクションプランの推進」と「3年間の目標」について



第2地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 桑澤 一郎（茅野 RC）

次年度の話で恐縮ですが、ステファニー・アーチック会長エレクトは、会長イニシアティブの一つに「クラブにおけるアクションプランの推進」を掲げており、新たに各ゾーンに「アクションプランチャンピオン（行動計画推進者）」なる役を設け、地区やクラブへのアクションプランの浸透を推し進めようとしています。

一方で、RI 理事会により「3-year rolling targets(3年間の目標)」のパイロット実施が決議され、各 RI 理事を通して各地区、クラブに伝達がおこなわれております。

アクションプランと3年間の目標は、実は密接に結びついております。つまり、3年間の目標の入力はマイロータリーの「クラブセントラル」からおこないます（現在は1年のみ=RIにより改変中）が、その目標の項目はアクションプランの4つの優先事項、つまり「より大きなインパクトをもたらす」「参加者の基盤を広げる」「参加者の積極的な関わりを促す」「適応力を高める」に分類され、それぞれに目標項目が掲げられておりますので、目標設定の前にアクションプランというロータリーの活動方針の理解が必要となります。もちろん、単に具体的な目標項目に目標数字や奉仕活動目標を入力することはできますが、私たちが何を目的としてこれらを達成しようとしているかを理解していなければ、数字や奉仕活動が一人歩きしてしまい、それは時にロータリーの目指すものと一致しない場合が出てきてしまう可能性があります。

私たちが目指すもの、これはビジョン声明として掲げられた「私たちは世界で地域社会でそして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています」であります。この大きな目標に向かって進むための方法論として様々な取り組みに加え、今回のアクションプラン推進と3年間の目標があります。この流れを理解して進めることが重要です。

アクションプランと3年間の目標については、昨年より設置された JAPAN ROTARY ポータルサイトに詳しい情報を掲載しています。ぜひこちらをご覧くださいの上、クラブで紹介してご利用いただきますようお願いいたします。

<https://www.japanrotary.club>



スマホからはこちら





重点分野における環境について



第2地域 ロータリー財団地域コーディネーター補佐 筈橋 美久 (名古屋中 RC)

皆様、日頃ロータリー財団の活動にご尽力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。今回は、重点分野に2021年から加わりました『環境』について少し述べさせていただきます。昨今、地震や津波等の自然災害のみならず地球温暖化に伴う異常気象も深刻となり、経済や社会のあらゆる分野に大きな影響を及ぼしています。こうした状況は、私たちの毎日の生活にも大きな影響を及ぼしています。

昨年から世界中で起きている異常気象が穀物の価格を押し上げ、私たちの家計に大きな影響を与えています。これも地球温暖化が進行しつつあることを如実に表しているものであります。

これらは、我々の目に留まる事象の一部ではありますが、地球環境は、日に日に悪化の一途をたどっております。我々の生活が快適になればなるほど、現在の地球のどこかで環境破壊が進んでいるということを私たちは強く認識しなければなりません。

日本は、海に囲まれ、多くの海産物に恵まれています。一方で私たちがマグロやウナギの漁獲量を増加させたことは、種の絶滅の危険性を高め、海の生態系にも大きな影響を与えてきたことを忘れてはなりません。特に、私たちが海に放出している海洋マイクロプラスチックは、大きな問題として、昨今報道されています。海洋マイクロプラスチックは海を漂流し続けているそうです。日本においても、地球環境問題は決して他人ごとではなく、喫緊に取り組むべき問題と位置づけるべきであり、ロータリーとしても真剣に活動しなければならないと思います。

まずは、私たち自身が快適な生活を求めるあまり、地球上のどこかの自然を破壊しているという事実を認識するところから始めましょう。以下、環境保護を進めるためのきっかけとして、いくつか重点的なポイントを提案させていただきます。皆様の参考にして頂ければ幸いです。

・地球環境の保全

脱炭素化の推進、化石燃料から再生可能エネルギーへの転換

マイクロプラスチックの流出抑制

・自然との共生

カーボンニュートラルの推進、森林破壊の抑制、里山の再生計画、生物多様性の保全

・廃棄物の適正処理

ビン、プラスチック、紙等のリサイクルの推進、ごみの排出抑制・適正処理

こうした問題は一朝一夕に解決できるものではありませんが、どれも私たちの生活に大きな影響を与える事柄です。化石燃料の使用の抑制を考える。また不要なプラスチックの使用を控えるということも、比較的すぐに始められることかと思えます。地球環境の保護という大きな目標に向かって、まずは小さなステップから始めようではありませんか。それぞれのロータリー会員の小さな一歩が、地球全体での大きな一歩となるはずですよ。

なお、この環境分野における補助金の運用は、グローバル補助金を活用することが可能でございます。従来のグローバル補助金の使途方法は、援助国(先進国)から拠出され、支援国(後進国)へ主流でありましたが、環境分野が加わることにより、先進国にも適用する機会が増えて参りました。わが国においてもグローバル補助金の活用に向けた計画をされてみてはいかがでしょうか？

今後のロータリーの奉仕活動において、上述のことを参考にして頂き、草の根の活動をさらに推進していただきたいと思えます。環境の保護を重点的に取り入れつつ、ロータリー会員の皆様がさらに充実した活動を展開されることを祈念しております。



1. 世話クラブへ届けた義援金

ネパール出身の米山学友、ギミルハリパラサドさん（2014-15／四街道RC）が2月27日に世話クラブの例会に出席しました。現在は千葉大学法政経学部で講師としてアジアの政治や市民社会について教えながら、同大学のグローバル関係融合研究



ハリさん(前列右から4人目)の奨学生時代、例会にて

センターで特任研究員として勤務中。将来は「日本とアジア諸国の懸け橋になれるような研究活動を進めていきたい」と語るハリさん。

今回例会に出席した目的は、義援金を届けるためでした。というのも、母国ネパールで2015年4月に起きた地震により大きな被害が出た際、四街道RCが義援金として160,000円の寄付を行い、当時米山奨学生だったハリさんを通じてネパールへ送金していました。この義援金は現

地で仮設住宅の建設などに役立てられ、実際に仮設住宅に住んでいた人々はとても喜び、支援をしてくれた四街道RCの方々に感謝していたそうです。

その時から約9年後、今回の能登地震の発生を受け、当時支援を受けたネパー

ルの方々から「何か力になりたい」との連絡がハリさんに入りました。そして、ネパールから義援金が届き、ハリさん自身の寄付金を加えた170,000円を例会でクラブ会長へ手渡ししました。

例会場は温かい拍手に包まれ、「受け取った義援金は被災地へ届ける」と、会長から力強い言葉を貰ったとのこと。

2. マレーシア米山学友会 総会開催

3月1日、マレーシア米山学友会の総会がハイブリッド形式で開催され、会場に24人、オンラインで11人、計35人が参加しました。また、海外米山学友会からは、スリランカ米山学友会会長のダシルワプブ



ドゥさん（2007-09／室蘭北RC）、ネパール米山学友会理事のギリラムさん（1998-2000／室蘭RC）がオンラインで参加し、全体を通して和気あいあいとした雰囲気での総会となりました。

会長の黄建榮さん（1998-2000／室蘭東RC）

は挨拶で「学友会の活動テーマは『教育』である」として、マレーシアと日本の高校生の交流プログラムを企画・運営していることや、小児医療機関への寄付など、重点的に力を入れている活動を紹介。また、マレーシアにあるロータリーク

ラブを訪問し、米山記念奨学金の支援を受けたマレーシアの学生が累計で1,000人を超えることをアピールし、今後学友会との協働を打診するなど、現地のロータリークラブとの連携を模索しているとのこと。

3. 寄付金速報 — 例年並みの推移 —

前年同期比

+ 1.8%

普 - 1.1% 特 + 3.2%

2 月末までの寄付金は前年同期と比べて 1.8% 増（普通寄付金:1.1%減、特別寄付金:3.2%増）、約 2,040 万円の増加となりました。

今月の寄付金は、直近 5 年間と同様の平均額で推移しています。皆さまからの変わらぬ厚いご支援に深く感謝いたします。来月以降は新規米山奨学生に関する行事も増加してまいりますので、引き続きご協力を賜りますようお願いいたします。

4. 「人としての成長を実感」奨学期間を振り返る

卒業シーズンとなる 3 月、多くの米山奨学生が奨学期間を終了し、新たな一步を踏み出すこととなります。今回は、ベトナム出身のグエンティ ハインさん（2022-24/横浜泉 RC）に、米山奨学生として過ごした 2 年間を振り返っていただきました。

〈ハインさんより〉

米山奨学生に合格した時は、とにかく大喜びしました。待ちに待った合格通知を受け取った瞬間は、今でも覚えています。それまでの努力や挑戦が報われたことを実感すると同時に、その恩返しをしっかりと果たさなければならない、という責任も感じていました。初めてクラブの方々に出会った時は、ただ私を歓迎するだけでなく、将来のためにサポートしたい、という姿勢を強く感じ、心を打たれました。例会のたびにいただいた温かい言葉や応援のメッセージは、異国の地で過ごす私にとって、大きな励みになりました。

世話クラブでの 2 年間を通じて学んだ人間性、社会貢献に対する価値観や、真のリーダーシップは他者のために尽くすことにある、という考え方は、まだ学生の私にとって、学外での貴重な学びとなりました。多くのアドバイスやご指



ハインさんとカウンセラーの鈴木崇弘氏(右)

導を受け、自分が人として成長できている、という実感を得ることができました。

4 月から新たに米山奨学生となる方々にぜひ実践してみてほしいことは、クラブ会員の皆さんのお名前とお仕事をいち早く覚えることです。そうすれば、いろんなテーマで会話が弾みます。実際に私も名簿をいただき、一生懸命覚えめました。母国について興味を持ってくださるので、母国に関する知識を深めておくことも大切です。

ここでの学びを生かし、今後は日本で、子どもたちの教育支援など、社会の課題解決に貢献することが私の目標です。ぜひ応援してください。お世話になった皆さま、本当にありがとうございました。

米山学友の顔

よねやま親善大使をお招きください

現在、第 5 代よねやま親善大使として選ばれた、個性豊かな米山学友 3 人が活動中です。活躍する米山学友の代表として、当事業のあらましや自身の活動、ロータリーと交流し、学んだ経験が人生においてどのように生かされているか等をお話します。地区大会や米山セミナー、奨学生のオリエンテーションや歓送会等でのスピーチに、ぜひお招きください。

詳細はこちら

